

令和4年度大阪府景観審議会

第1回公共事業アドバイス部会 会議要旨

都市整備部 住宅建築局 建築環境課

開催日時：令和4年7月14日（木）13:00～17:00

出席委員：田中専門委員、林専門委員、若本部会長

○大阪モノレール延伸事業（仮称）門真南駅、（仮称）鴻池新田駅、（仮称）荒本駅について

【（仮称）門真南駅】

- 主にコンセプトから具体化しているのは色彩のみで、それは階段やフェンス等にも及んでいると理解してよいか。
→（モノレール建設事務所）土木構造物との調整は難しいが、スロープなど検討の余地はある。
- 土木構造物との一体性を有しつつ、駅舎の形態そのものを見せるというコンセプトはすごく良いと思いましたが、具体的に駅舎の形態を見せることに関して、こういったところをデザイン上の工夫をされたのか補足をしていただきたい。
→（モノレール建設事務所）土木構造物が大規模構成されている中で、具体的に位置が意識でき、その中で、今回取り入れたラインを示したことで、土木構造物に埋もれることの無いような存在感というのを、設計できたのではないかと思う。
- 様々な制約などもある中で検討して頂いたのはありがたいが、もう少し何かできないかと思う。
- パースに描かれていないが、外構でどこまで対応できるか検討してほしい。
- 横からだけでなく下からやコンコースに入っていくところなどの内側も目に映る。木調のインテリアを使うことで、夜であれば色温度の低い照明で温かみのあるような雰囲気が入り口から伝わってくる。コンセプトに盛り込まれている景観作りの小さい工夫がもう少し色々と反映できる。単に材料の色でできることもあるので、最後のひと踏ん張り取り組んでほしい。
- 周りの土木構造物がすごく大きい中で、駅舎の大きさを強調するという意味では横一線のアクセントもありだと思う。大きさを色で表現しており、このように横一線引いている駅舎はあまり多くないと思う。
- コンセプトや内容が整理されているので、細かいところを最後詰めて、外から見える可能性があるところもしっかり検討してほしい。

【（仮称）鴻池新田駅】

- 巨大な構造物になってしまう駅舎を上階と下階を分節することで、陰影ができるのが効果的である。陰影はどれくらいか。
→（モノレール建設事務所）上下階の分離を意識しラインを入れたとして、東大阪市の基準上、細くなってしまったため、上部に固めて上下階を分けた。
- 駅舎よりも駅前広場の方が景観の中心になりそうなので、東大阪市へ駅前広場の景観形成に力を入れるよう伝えてほしい。
- 連絡通路に屋根をかけるか、かけないかによって、歩行者からの駅舎の見え方が変わるので気を付けたほうが良い。アクセントカラーの入れ方やどういう効果をもたせるかなども考えてほしい。

【(仮称) 荒本駅】

- コンコース開口部のアクセントカラーがどのくらい見えるのか。コンコースへ向かうスロープの屋根で歩道からアクセントカラーがあまり見えないので、最後まで見え方については調整してほしい。人が集まる中心拠点というコンセプトを立て、色彩を落とし込んでいるのはとても良い。
- 駅に接続する歩道橋は、図書館と市役所間のメインストリートの要素の一つなので、主要な視点場を意識してデザインするなど、よくお考えいただきたい。
- 景観はその建物（視対象）の見た目だけを変えることが役割ではない。使い方なども含め周辺の建物や広場、道路との関係について関係者と話し合い、その結果をパースに反映してほしい。
- 駅舎の色と背景となる大規模開発との調和を目指す上手なルール作りや、まちづくりをしてほしい。また、東大阪市と思いを共有して一体整備をしてほしい。

○新千里北第2期住宅民活プロジェクトについて

- 色々と考えられていて良いと思う。府営住宅跡地に建設される民間マンションも今回の府営住宅と繋がるような形で、色彩や建物形状、高さの考え方は引き継がれるのか。
- 南側の広場（緑地）が隣接する民間計画につながっていければいいと思う。
→（事業者）協議の中での話になるが、オープンな形の緑地空間が確保できると思う。
- 児童遊園は街路樹側から見た時にどう見えるか。南側斜面の辺りに何か面白さや、周辺の人々にも楽しんでいただけるような形に全体像を考えていただければと思う。
→（事業者）高低差は8メートル程、できるだけ法面を公園として使える一体的な形で段々の公園が広がるイメージで考えている。
- 既存の街路樹は残るのか。
→（事業者）樹木診断の上、残したいと協議中。
- 大阪府は事業主であり、民間事業者と違ってコントロールできる範囲がすごく広いということを意識してほしい。第2期も先行街区の建替えデザインを引き継いだことを図面上に表し、全体の方針を示すことが重要である。また、大街区全体の計画を策定し、民間事業者等に土地売却をする場合は引き継いでほしいことを条件として付けるなど、大阪府だからできることを検討し、景観形成を考えてほしい。
- 千里ニュータウンというのは特別な法律で、また一団地で作られ、空間設計として目指しているところが一般市街地とは違う。建替のプロセスも、おそらく一般市街地とは違うはず。その辺りがわかるような説明や、設計プロセスの工夫をしてほしい。
- 千里ニュータウンは丘陵地でアップダウンが多い。良い景観作りのために、できれば模型を作り、高低差などのボリューム感を確認しながらデザインしてほしい。